

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

## C O N T E N T S

ページ数 項目

## 案内 &lt;&lt;Information&gt;&gt;

P1 平成31年度(2019年度)定期総会開催のご案内

## 報告 &lt;&lt;Report&gt;&gt;

- P2 第38回臨床検査精度管理向上研修会  
第21回検査部長・技師長連絡会議 報告
- P3 平成31年度 第1回理事会議事録
- P12 平成31年度 定期総会資料(総会資料は5月中旬の発送予定です。)



厚生労働局より「風しんの追加的対策について」お知らせがあります。

下記のアドレスより参照してください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)

## 平成31年度(2019年度) 定期総会開催のご案内

標記総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願いいたします。  
総会当日は、平成31年度定期総会資料をご持参ください。  
また、総会に先立ちまして、平成30年度会員表彰式を行いますので合わせてご出席下さい。

日 時 令和元年6月15日(土)  
表彰式 16時00分～16時30分  
総会 16時30分～17時30分

場 所 ホテルサンルート広島 2階「芙蓉の間」  
〒730-0051  
広島市中区大手町3-3-1 TEL(082)249-3600

議 事 第1号議案 平成30年度事業報告  
第2号議案 平成30年度決算報告  
第3号議案 平成30年度監査報告  
第4号議案 平成31(令和元)年度事業方針案  
第5号議案 平成31(令和元)年度予算案  
第6号議案 その他

一般社団法人 広島県臨床検査技師会  
会 長 森 田 益 子

## 第38回臨床検査精度管理向上研修会 第21回検査部長・技師長連絡会議 報告



平成31年3月24日(日)広島県医師会館ホールにて第21回検査部長・技師長連絡会議ならびに第38回臨床検査精度管理向上研修会が開催されました。向上研修会に先立って開催された連絡会議では「医療法等の一部改正に伴う日本臨床衛生検査技師会の対処方針」(日本臨床衛生検査技師会理事・中国支部長、厚生連広島総合病院臨床研究検査科長:水野 誠士)と法改正による検体検査の精度確保の明確化に伴う変化と日本臨床衛生検査技師会の今後の活動についての発表で大変興味深い内容でした。

検体検査の精度管理責任者の確保、手順書・作業日誌(教育研修記録・温度管理・検体の取り扱い等)等の整備が今後の必須の課題となっていくとのことでした。精度管理責任者の選任は検体検査を6年以上、精度管理を3年以上の経験を有することが前提となり、定期的な研修を必要とします。そのため、日本臨床衛生検査技師会では、HPよりe-ラーニングを用いた研修を行うことを考えているとのことです。また、標準作業手順書については、HPにて見本を公開し作業手順書や日誌等の作成のフォローを行っていくそうです。

臨床検査精度管理向上研修会では、広島県医師会会長の平松恵一先生より開会の挨拶があり、成績優秀施設への表彰、精度管理調査結果の評価・解説がありました。評価・解説で主な事項は、生化学検査では、今年度は新たな試みとして昨年度から参考調査となっているHDLコレステロール・LDLコ

レステロールの目標値設定について、超遠心法による設定の検討が行われました。しかし期待通りの結果は得られなかったため今後も検討を行っていくそうです。輸血検査では、間接抗グロブリン試験で誤判定によりD判定となってしまった施設が数施設ありました。その施設は反応増強剤としてLISS(カラム凝集法)、感度の高いPEGを用いている施設でした。これは、使用器具類・検査環境の変化・機器のメンテナンス等の様々な要因によるものも考えられるため、技術向上はもちろんの事ながら、器具や環境の管理・日常精度管理・機器メンテナンスによる影響を正しく理解し検査を実施していく必要があります。一般検査では、評価対象外ですが胸水中の細胞鑑別の正解率は低く67.5%でした。穿刺液中の細胞鑑別は臨床的意義が高いため今後は研修会等での技術向上を目指していきたいと締めくくられました。詳しい報告資料は日臨技ホームページのJAMTQCに掲載されています。

引き続き行われた特別公演では、島根大学医学部付属病院検査部 技師長 三島清司先生に「血液検査の標準化」と題して講演していただきました。検査結果の信頼性と普遍性を担保する標準化は、臨床化学検査などに比較して確立された標準物質の存在しない血液検査は大きく遅れているそうです。今回は血液検査の標準化に向けた日本検査血液学会の活動についての講演内容でした。

血液検査の標準化は難しく血球形態については連続画像・ランダム画像での目合わせを行い一致率を求め、80%以上を標準画像として分類を実施することを考えられているそうです。血球計数・凝固検査等も着手可能なところから標準化を進めていくことが重要であると締めくくられ講演を終了しました。

(広報部 広島市立広島市民病院 鍵原 碧)

# 平成31年度 第1回理事会議事録

2019年度第1回理事会が開催されたので、報告します。

## 2019年度 第1回理事会議事録

日時 平成31年4月18日（木） 18：30～20：30  
場所 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 事務所  
出席者 森田会長 飯伏副会長 米田副会長 三舛副会長、坂田事務局長 樫山事務局長次長  
尾田部長、浅野部長 中島部長 有谿部長 栗村理事 藤井理事 大塚理事 桑原理事 吉  
井理事 桑田理事 小松(忠)理事  
柴田理事 中宮理事 箕岡理事 細谷理事 小松(浩)理事  
栢本監事 水野監事  
欠席者 難波部長  
書記 小松(浩)

## 議 事

### <報告事項>

#### 【森田会長】

#### ●日臨技より広臨技へ通知

昨年度と同様に生涯教育推進研修会を実施すると、1研修につき、20,000円+500円/人×60名で最大50,000円を限度として支給が決定されました。研修会の申請と終了の手続きが必要です。申し込みおよび申請をしてください。

●都道府県主催ニューリーダー育成講習会はこれまでに参加した4名を中心に実施したが、今年度にもう一度、日臨技主催で2泊の講習会（日時未定）を実施する。広臨技からは河野さんに参加していただきたいと考えている。（常務理事会においても提案・了承済み。）

昨年、講習会に参加された中宮理事より、同様のことが言われていたので、河野さんにはお願いしてあるとの追加発言あり。

●全国検査と健康展の開催の要望があった。

渉外法規部が中心となってその他の理事さんとともに開催する。

●日臨技精度管理結果サポート事業として、C・D評価の施設に対して助成を行い研修会を実施した場合、最大70,000円の支給があったが、一旦中止となりました。

2020年度を目標によりよいサポートのある事業の再構築し、決定し次第お知らせします。

●ベッドサイド実践講習会（旧他職種連携のための臨床検査技師育成講習会）開催のお願いとして、3年間の継続事業として都道府県で開催する。

検査相談説明ができる検査技師育成講習会の継承事業として位置づけられています。

開催費用として、定額200,000円+1,000円/1名の経費は日臨技が負担します。

受講者は3年間で会員数の1割を目指す。

実行委員を選出し、開催していただきたい。

一昨年参加した広島総合病院の霜津技師、担当理事は三舛副会長を中心として実施いただくことが常務理事会で決定されました。

●初級職能開発講習会の開催のお願い

1回行ったのみで実施していないので、組織調査部が担当で、今年度は実施していただきたい。定額50,000円+1,000円/1名の経費

●総会の委任状回収委託事業

議決権や出席者を回収し、回収率が66.7%以上の場合、100円/1名あたりが日臨技からおりてきますので、総会の委任状の回収を理事が行ってください。

●中四国支部学会のシンポジストとシンポジウムの座長が決定された。

広島県からは座長が4名、シンポジスト1名です。

●5月開催の日本医学検査学会において参加者登録用のバーコードリーダーが不足しており、広島県から1台貸出の要請があり、4月26日までに着払いで送付の手続きを行った。

【坂田事務局長】

●4/9に委嘱状を2名に発送した。

広島赤十字・原爆病院 永崎裕志さんに病理部門長、

福山医師会健康検査センター 和田栄津子さんに生涯教育委員の委嘱状を送付。

任期：平成31年4月1日～令和2年6月30日

●4月9日賛助会員77社と県会員5名に対し、平成31年度会員継続依頼を送付した。

●平成30年度医療技術者研修事業補助金(100,000円)を受けるために、この後、理事会承認していただく事業報告等を広島県へ送付し、受ける予定です。

本来は総会承認が必要な懸案ですが、期日締め切りが迫っており、理事会承認により提出します。

●総会のスケジュール

日時：6月15日（土）ホテルサンルート広島において開催

13：00～14：00理事会（広臨技事務所）

表彰式16：00～16：30 総会16：30～17：30

表彰祝賀会18：00～ 祝賀会会場ホテルサンルート内 15Fヴィアーレ

会費6,000円（4,000円の自己負担+2,000円の行動費）

【尾田学術部長から報告】

●R-CPCに関して、今後、話し合いを行い、どのような症例をテーマとするか決定する予定です

【浅野経理部長】

●日臨技より助成金の振り込みがありました。

3/26に平成31年度会費収入として会員数1704名×7,000円で、11,928,000円

生理検査部門と臨床一般部との合同研修会：50,000円

東部地区生理検査部門研修会：47,000円

- 文献検索のメディカルオンライン使用料として711円の収入の予定（5/31）があります。

#### 【中島渉外法規部長】

- 5/12 ピンクリボン de Carp（マツダスタジアム）

4/15 に実行委員会会議に大塚理事および中島常務理事が参加した。骨密度測定を実施する。ボランティア6名必要だが、1名不足しているため、理事および常務理事で参加いただきたい。

- がん検診へ行こうよ 推進会議が本日開かれ、中島常務理事が参加した。

広島県のがん検診受診率は全国平均を下回っており40%前後であるとの報告があった。目標受診率50%したいとの発言がありました。

9/1 にデーモン閣下が来る“がん検診へ行こうよ in マツダスタジアム2019

スポンサー主催の試合なので外野でのパフォーマンスもないと思われます。

- HIV 日曜検査の契約書を交わした。委託料：検査事業は646,000円、相談事業は1,935,000円です。

現段階では、技師会会員5名で、事業を行っている。

#### 【組織調査部から報告】

- なし

#### 【有谿広報部長】

- 速報4月号を3月末に新しいWEBサイトに掲載し、メーリングリストにて送信した。

速報5月号は4月11日に締め切り、理事会の議事録、定期総会の案内、3月実施の臨床検査精度管理向上および検査部長・技師長会の報告を掲載する予定。

- 3/12に平成30年度広報部会を開催し、2019年度の広報の役割分担、8月発行の会報の特集について討議した。

2018年夏の西日本豪雨災害での技師会が活動したDVD検診や病院被害状況などをまとめるため、座談会形式で、水野支部長、森田会長、飯伏副会長、浅野常務理事が出席していただく。

- 医療法改正についても、掲載する予定。

- 2019年度に、定款規則等が大きく変更されたので、全文を掲載します。

#### <地区報告>

##### 【広島地区・西部地区：小松】

- 4/24広臨技 広島・西部地区レクリエーション（Carp観戦）

申込人数 会員86名、賛助会員（会員家族）60名 計146名

##### 【呉地区：柴田】

- 事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/02/28	平成 30 年度第 6 回呉地区研修会	27 名
2019/03/12	平成 30 年度第 3 回呉地区微生物研修会	10 名

● 事業計画

開催日	事業名
2019/04/18	2019 年度第 1 回呉地区研修会
2019/04/25	2019 年度第 1 回呉地区輸血談話会
2019/05/11	呉地区レクリエーション [カープ野球観戦]
2019/05/15	2019 年度第 1 回呉地区細胞診研修会
2019/05/25	呉地区栄養サポート研修会
2019/05/27	2019 年度第 2 回呉地区研修会
2019/05/31	2019 年度第 1 回呉地区血液研修会
2019/06/13	2019 年度第 1 回呉地区生理検査研修会
2019/06/13	2019 年度第 1 回呉地区微生物研修会

\*5/11呉地区レクリエーション [カープ野球観戦] に関して 呉地区会員36名 賛助会員8名で50名に達せず、呉地区外会員に声かけし50名に達しました。

\*5/25呉地区栄養サポート研修会は、広臨技への共催願いを持参した。

【東部地区：桑田】

● 事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/03/16	東部地区生理研修会（2018 年度日臨技精度管理報告会）	27 名

● 活動報告

2019/03/27 東部地区学術部門長会議 (H31 年度研修会について)
--

● 事業計画

開催予定日	事業名
2019/06/27	第 1 回生涯教育講座（東部地区）

【東広島地区：小松（忠）】

●活動報告

県学会報告
-------

【北部地区：箕岡】

●事業計画

開催予定日	事業名
2019/6/22	北部地区研修会
2019/9/未定	北部地区研修会
2019/12/未定	北部地区研修会
2019/12/未定	北部地区意見交換会

<討議事項>

【会長】

- 細則の中に各部局等の記載があり，その中に部員の任期に記述あり．

任期は2年とする．部員は再任されることができる．ただし，再任は通算3期までとする．となっている．見落としていたため，浅野経理部長が4期目に入っていた．

対応のため，必要に応じて理事会の承認で再任できると改定させていただきたい．

特に経理部に関して経理副部長も現在3期目であり，来年度以降，経理部長・副部長が退くと，技師会運営に多大な支障をきたすことが予想されるため，理事会の承認により4期目以降も再任可能という形に変更したい．

→異議なく，承認された．

浅野経理部長の再任に関しても，異議なく承認された．

【事務局】

- 討議事項なし

【学術部】

- 学術誌の編集委員の追加をお願いしていた．

編集委員10名と細則に記述があるが，副会長・委員長・副委員長も含めた10名であると勘違いしていた．そのため，副会長・委員長・副委員長の3名の空きがあり，次回の理事会までには3名の選出を行いたい．

【経理部】

- 通帳の運用方法．

CPC 研修会の開催との要望あり．平成 31 年度予算申請（30 万円）を受けているが，現金でもらっても困るということで，運用するための通帳がほしいとのこと．

前事業積立金として使用していた郵便局の通帳・キャッシュカードがあるので，それを使っていたいただきたいが承認いただきたい．

CPC 研修会に関して，質問あり

（水野監事）CPC を動かす担当はどこなのか，遺伝子部門がやるのか，別に担当部門を立ち上げるのか？

(尾田学術部門長) 学術部門内に小委員会がある。ワーキンググループを立ち上げた主旨を以前の理事会(1月)で報告した。

(森田会長) 小委員会だと、細則に記述がないので、学術部門内のワーキンググループという形であれば、理事会承認で可能と考える。

(三舛副会長) 会長が必要と認めれば設置が可能という文言あり、学術部門が必要であればという文言なし。

(水野監事) 学術部からの答申で会長が必要と認め(常務理事会)、理事会で承認するという手順を踏んでください。会計に関しても、CPC研修会を実施する会計責任者の指導をお願いします。

#### 【渉外法規部】

- 全国「検査と健康展」を11月に開催する。

準備するにあたっては渉外法規部および三舛副会長が行うが、広島・西部地区理事も含め準備等からお願いしたい。

- 表彰審査委員会から答申書を出した。

表彰者：学術業績者表彰2名 渡辺技師 および 長谷川技師

学術奨励賞と功労者は該当なし

永年職務精励者：32名

特別表彰：金本技師と竹本技師

#### 【組織調査部】

- 討議事項なし

#### 【広報部】

- 総会の資料配布予定

4/23までに決算・総会の資料を合わせて広臨技役員でチェックを行う。

4/24可部印刷依頼、5/10事務所から委任状等が入った総会の資料を会員へ送付する。

委任状締め切り5/28ですので、理事は各施設や担当地区の委任状を回収し、難波組織調査部長へ提出してください。

#### 【広島地区】

- 討議事項なし

#### 【呉地区】

●呉地区委員からのお願いで、広臨技のメーリングリストが1週間前での配信となっておるため、1週間前では遅く、参加したいが予定が付けられないことがあるため、1か月前の配信に変更してほしい。

→新しいWEBサイトにおいて、メーリングリストがなくなる可能性もある。また、行事カレンダーはWEBサイトにあるので、そちらを各施設で印刷などして利用していただきたい。



浅野経理部長：ホームページ作成会社に完成前ではあるが、頭金の20万円を振り込んだ。残金を未払いのまま31年度になった。完成前ではあるが未払い分の支払いをしてもよいか。

→異議なく承認された。

【東部地区】

●討議事項なし

【東広島地区】

●討議事項なし

【北部地区】

●討議事項なし

【県学会報告】

学会参加人数

会員	164名
賛助会員	22名
学生	5名
一般市民	30名
合計	221名

決算報告

収入の部

項目	金額	備考
広臨技助成金	1,500,000	
展示	75,000	10,000円×4社 30,000円×1社 5,000円×1社
広告	290,000	30,000円×7社 20,000円×4社
ランチョンセミナー	200,000	1,000円×100食×2社
貯金利子	4	
雑収入	2,000	抄録 2冊
合計	2,067,004	

支出の部

項目	金額	備考
会場費	373,000	グランラセーレ東広島 2日分

設備費	178,000	スクリーン運搬費 10,000×2、スクリーン 24,000×3、レンタルテーブル 60 枚 86,000
講師謝金・交通費	165,940	講師 5 名分
ランチョンセミナー	200,000	1,000 円×100 食×2 社
印刷製本費	554,040	抄録 1950 冊・ポスター A2・80 枚、チラシ A4・2000 枚（追加 A4・1500 枚）
会議費	14,780	計 8 回会議費
運営費	253,656	実務委員活動費、弁当代、茶菓子、交通費
雑費	44,637	
合計	1,784,053	

収支差額

282,951

懇親会参加人数

会員	58 名
賛助会員	29 名
合計	87 名

懇親会収入

項目	金額
懇親会費	435,000

懇親会支出

項目	金額
懇親会請求額	433,565
懇親会準備品	
謝礼	
合計	433,565

懇親会準備品、謝礼は学会支出雑費の一部で計上

懇親会収支差額

1,435

学会終了5日後に反省会を行った。下記の意見がだされたので報告する。

<全体的に>

学会に『集まれ広臨技』を組み込む必要があるか。

学会を1日に短縮できるか？（一般演題を聞いてからほとんどランチョンも残らず、ほとんどが朝だけを聞いて帰る会員が多かった）

5年に1回は東広島地区の事情的にはかなり厳しい。

#### <学会案内>

広臨技ウェブサイト上で広島県医学検査学会のリンクをクリックしても、前回の呉地区の案内ページに飛び、今回の学会に関するページが見つからなかった。

抄録に無料バスの案内をウェブサイトに載せると記載したが、実際は速報2月号のみの掲載だけになってしまい、会員に周知出来なかった。

⇒ 学会を準備する側として、システム委員会にウェブサイトの修正を働き掛ける必要があったのか？

そもそも学会運営側がホームページを更新しないといけなかったのか？

⇒ 学会の案内は紙ベースで出すべきなのか？

#### ★（飯伏副会長）

これまでの県学会のホームページは前担当者が独自で作成されていたにすぎないため、今後はやめたいということで、新しいリンク先を貼らず、そのままだったために昨年の学会ページの閲覧であった。

#### ★三舛副会長

次回からは、新しいWEBサイトの中に学会というボタンを作成し、県学会、中四国支部学会、全国学会などへリンクされるようにする。ただし、県学会は広臨技WEB上に固定ページを作成・管理しなければならない。今回は、開発者の事情により間に合わなかった。申し訳ありません。

#### <会場、部屋の運用>

両会場とも大きさに問題はなかった。

座れなかったらと思って準備した後ろの椅子が、前に座らない状態でも座られていた。アンケートにもあったが机の席がいっぱいになったタイミングで出した方がよかった。

喫煙スペースがあるので仕方ないが、1階の喫煙室からにおいがフロア全体に流れていた。

部屋の案内を掲示した方が良かったのでは（間違えて別に部屋へ行く人もいたので）。

#### <展示>

スペースを広く準備でき、良かったと思う。

#### <シンポジウム>

職域をまたいだ豪雨災害への対応を聞く事が出来よかった。開始時間が遅れてしまい、最終的に終了も押しってしまったため、質疑・討議が多く行われなかったのが少し残念ではあった。

#### <懇親会>

余興も盛り上がり良かった。

メーカーに懇親会の案内を出すのが遅れ心配していたが、最終的には多くのメーカーに参加頂いた。

### <一般演題>

進行としてはスムーズに行えた。ただ、質疑応答が活発でなかった。

### <ランチョンセミナー>

両会場とも参加が少なく弁当がたくさんあまった。メーカーにお金を出してもらっており、とても申し訳なく思った。

⇒ 呉地区開催時においても 200 準備したがたくさんあまったと聞いた。

会員全員にいきたらなと思って合計 200 としたが、全体的に数を減らさないと今後メーカーが引き受けてくれないのではと感じた。

1 日目と 2 日目の弁当の内容が同じであった。

#### ★柴田理事

呉地区では、200 準備したが、余りは 20 くらいだった。前回の参加数をもとに、弁当の数を決定した。

#### ★小松(忠)理事

今回も、5 年前の前回は参考になり 200 に決定したのであるが、前回の開催場所が広島国際大学であり、その時は参加人数がもう少し多かった。一般演題発表までは、それなりの人数がいたが、それを終え、ランチョンセミナーと市民公開講座の段階で、会員が少なくなっていた。

学会を例年通りの 2 日間実施ということが 1 つの原因ではないのか。

#### ★森田会長

今までの慣習から 2 日間の実施となっている。学会とは別で、1 日を『集まれ広臨技』にすることで、生涯教育の基礎点を取れる形にしていた（受付 2 回実施）。

また、学会にはいろんな方が参加され、執行部からのお話ができる、広臨技や日臨技が考えていることやお知らせができる機会を設けたいという考えから 2 日間実施の意図もある。

ランチョンセミナーから参加者が帰るのは非常に残念である。

今後、学会運営に関して、検討する余地がある。開催する地区ごとの特徴をもって開催するのも良いと思うので、今回の反省も生かし、次回学会においても検討いただきたい。

### <市民公開講座 I >

とてもわかりやすかった。

### <市民公開講座 II >

藤原先生に依頼する時に 60 分をお願いしていたが、先生が勘違いされていて 90 分で作成されていたようだ。最初に 90 分のキーワードがあったタイミングで先生に 60 分をお願いする旨をお願いすればよかった。内容はとても面白かった。

### <その他>

ネームプレートの回収率が悪かった。

市民への宣伝が弱かった（およそ 20~30 人）。テーマや講演内容は良かったと思うので、お金をかけてでも宣伝が必要と感じた。

<PC 担当>

PCが新しくなり、DVDドライブが非搭載となった。広臨技のPCだけを使用するのであれば、今後CD提出は難しいか？

★浅野経理部長より補足発言

理事の駐車場代も含めた宿泊費の前払い要望があったために支払ったが、駐車が出来なくなった為、駐車場代金を返金いただくことになり、余分な手数料が発生。次回からは、後払いでお願いしたい。

講師の先生から領収書の受け取り忘れがあり、必ず受け取ってほしい。

【経理部】浅野経理部長

平成30年度決算に関して下記①～⑧を提示し詳細に報告があった。①正味財産増減計算書 ②正味財産増減計算書内訳表 ③貸借対照表 ④財産目録 ⑤財務諸表に対する注記 ⑥収支計算書（前期比較）⑦収支計算書

⑧収支計算書の注記：①～⑧資料は別添付ファイル参照

\*印刷物の支出は減ったが、ウェブサイト変更のための支出が増えた。

\*技師会管理のPC10台の更新に消耗什器備品費（約180万円）が増えた。

\*速報や会報は印刷製本費に含まれている。

\*支払い助成金の増減は、活動費の支払い区分けされたため

\*広島県からのAIDS受託金が大きかった。

（水野監事）

旅費交通費に関して、研修会などの地区の場合と、理事会などの場合で振り分けが曖昧であり、その点に関して質問があった。

（浅野経理部長・森田会長）

正味財産増減計算書（2）経常費用 ①事業費または②管理費の項目の旅費交通費として決算とする。

（栞本監事）

指摘事項：担当部局長などの印が必要な箇所には印はあるが、必要ない場合が空欄になっており、斜線を引くこと。

コンビニの領収書や新幹線チケットの領収書には必ずサインをすること。

（水野監事）

全体として、しっかりできており、会計上処理の指摘はございません。

会の運用として、地区も含めた学術部門の運用が曖昧であり、広臨技には研修会企画運営細則、日臨技には生涯教育研修制度ガイドラインがあるので、地区理事や部門長は熟読した上で運営していただきたい。

広報取材に関して、支部学会や全国学会の報告に関して、個人の学会印象の報告になっていると思われる。

広臨技として勧めていく方向性、法改正などのトピックスなどを伝えるための広報の学会視察・報告という内容の方が良いのではないかと、技師会広報誌としてさらに良くなると思われる。

(森田会長)

会員みなさんのお金で運営されていますので、きっちりとした形で使ってください。

生涯教育の方で、お金が余っており(約30万円)、会費を下げたり、受講者に還元することなどを含め、生涯教育担当の飯伏副会長に考えていただきたい。

→以上により、決算報告に関して承認された。

(浅野経理部長)

決算処理等で、事務局の細川さんにとっても頑張ってもらって非常に感謝しているが、時給アップなどでも限度額などの問題もあり給与等での還元はできないため、5万円の旅行券を進呈したいので承認いただきたい。

→承認された。

#### 【その他の報告事項】

(桑原理事)

- 生涯教育委員会：4月から今年度の生涯教育講座の申し込みを開始した。
- 2/13(水)に広島県結核予防推進会議に出席した。広島県の結核の現状や結核予防推進プランの進捗状況、目標達成に向けた取り組み状況について協議した。



速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

広報部連絡・専用E-Mail < [koho@hiroringi.or.jp](mailto:koho@hiroringi.or.jp) >

モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切は5月15日です)

一般社団法人広島県臨床検査技師会

平成 31 年度 (2019 年度)

## 定期総会資料

### 目 次

#### 議 案

第 1 号議案	平成 30 年度事業報告	13
第 2 号議案	平成 30 年度決算報告	24
第 3 号議案	平成 30 年度監査報告	32
第 4 号議案	平成 31 (令和元) 年度事業方針案	33
第 5 号議案	平成 31 (令和元) 年度予算案	37
第 6 号議案	その他	

## 第1号議案 平成30年度事業報告

### <総括>

会員・賛助会員の皆様のご支援・ご協力により、7月の西日本豪雨災害時には、避難所でのDVT検診を施行でき、2018年度（平成30年度）の事業をすべて執行できましたことに御礼申し上げます。

《継続事業》 学術活動として本年は東広島市において県学会を開催、一般公開講座を開催した。

学術部門・各地区学術部門は、多くの研修会を開催し、研究・検討等も行った。学術誌「広島臨床検査 Vol.7」を発刊した。公益活動として全国「検査と健康展」、地区においても自治体や医師会との共催事業への参画、エイズキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン、がん検診啓発活動、県民フォーラムなど活動を行った。また、臨床検査技師のための認知症対応力向上研修会、地域、施設の中核となる技師育成を目指す地域ニューリーダー実践講習会を開催した。

組織調査部、各地区においては組織力強化に努めた。

《新規事業》 県からの委託事業としてエイズ日曜検査を実施した。この事業は、来年度以降継続事業となった。広報部において速報、行事予定表の印刷を廃止し、ウェブサイトでの閲覧に切り替えた。

### <事務局>

#### 1) 事務局体制の維持と管理

- ・事務局運営規定に則り業務を遂行した。
- ・日臨技総合情報システム（JAMTIS）を利用し、会員情報の維持・管理を行った。
- ・ウェブサイトやメーリングリストを利用し、新着情報その他各種情報の即時発信に努めた。

#### 2) 技師会活動の連携体制を維持

- ・各部間の円滑な運営に協力するとともに、日臨技と連携した共同事業を支援した。

7月に発生した西日本豪雨災害では、日臨技支援のもと被災地災害支援室を設置するとともに会員向け情報を発信、避難所においてDVT検診を実施した。その他、全国「検査と健康展」・「検体採取等厚生労働省指定講習会」・「ニューリーダー育成研修会」の開催を支援した。

#### 3) 常務理事会および理事会の開催

- ・常務理事会を12回（原則的に毎月第1木曜日）、理事会を5回開催した。

#### 4) 定期総会の開催

- ・定款の規定に基づき、総会を平成30年6月9日にホテルニューヒロデンにおいて開催した。

#### 5) 新春祝賀会の開催

- ・会員・賛助会員と役員の親睦と情報交換を目的とし平成31年1月12日にオリエンタルホテル広島にて開催した。（参加人数156名）

#### 6) 情報システムの管理

- ・情報システム委員会を中心に関係部署と協力しながら各種文書保存、電子データ保管の安全性強化を行い、クラウド環境等を有効利用して機密性、保存性強化を図った。
- ・事務局、生涯教育関連の事務業務、研修会等に使用するハードウェア、ソフトウェアの共用化を図った。またPCの不具合により会務や事業の進行に支障を起こさないようハードウェア、ソフトウェアを更新した。
- ・会員への情報提供強化のため情報システム委員会が中心となりメーリングリストの運用改善と登録推進を図った。



- ・一層の会員サービス向上と運用改善のために、ウェブサイト準備委員会を中心にウェブサイトの再構築を行い、3月に公開した。

7) 事務所の管理

- ・グレイスビルの老朽化に伴う事務所維持問題を継続し検討している（継続課題）。
- ・事務所所有者にかかる損害賠償責任の対策や事務所財産の保全処置を図った。

<学術部>

1) 検査研究部門および領域の活動

- ・会員の生涯教育を目的に各部門で研修会、講習会を開催した。（資料1）
- ・各種認定および資格の取得へ向けて情報提供と支援を行った。
- ・第36回広島県医学検査学会（平成31年2月23-24日）の開催を支援した。
- ・臨床微生物部門で実施したアンケート調査を第36回広島県医学検査学会にて報告した。
- ・臨床血液部門で実施した第2回凝固検体取り扱いに関するアンケート調査報告を広臨技ウェブサイトに掲載した。
- ・染色体・遺伝子部門においてアンケート調査の続報を第51回中四国支部医学検査学会で報告した。
- ・日本臨床検査技師会中四国支部研修会（病理細胞部門）を広島で開催した。

2) 生涯教育講座の開催

- ・生涯教育委員会を中心に広島地区および東部地区でそれぞれ5回、生涯教育講座を開催した。（資料2）

3) 精度管理事業

- ・広島県医師会共催のもと、精度管理委員会を中心に精度管理事業を実施し、精度管理調査解析および向上研修会で評価を報告した。（資料3）
- ・臨床検査データ標準化事業に精度管理委員会・標準化委員会を中心に協力し実施した。（資料4）

4) 会員の業績向上への支援

- ・学術誌編集委員会を立ち上げ、学術誌「広島臨床検査」を査読なおよび校正委員の支援により、広報部と連携して2018年第7号を発刊し継続している。その他、学会発表、論文投稿を支援した。

学術部門 資料1

【臨床血液部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/05/26	血液研修会 ～スタートアップ血液検査！～	115
2018/08/25	日臨技伝達講習会&末梢血鏡検実習 ～異形成克服セミナー～	61
2018/12/15	凝固研修会 ～検体取り扱いから臨床まで～	89
2019/01/26	日臨技伝達講習会&骨髄鏡検実習 ～異形成克服セミナー～	47

【臨床一般部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/06/16	第1回一般検査研修会	110
2018/09/01	第2回一般検査研修会（認定一般検査技師資格更新のための日臨技承認指定講習会）	54
2019/02/09	生理機能検査部門・臨床一般検査部門合同研修会	74

【病理細胞部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/04/15	病理細胞部門研修会 精度管理報告会	25
2018/7/21-22	病理細胞部門研修会「技」	71

【生物化学分析部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/06/23	自動分析装置の基礎／臨床検査技師が行う RCPC	69
2018/09/08	生物化学分析部門研修会	28
2018/12/01	生物化学分析部門研修会	31
2019/02/16	生物化学分析部門研修会	33

【染色体・遺伝子部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/10/20	遺伝子検査ハンズオン研修会～LAMP 法で血液疾患を検出しよう～	11

【臨床微生物部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/05/18	第 43 回広島感染症研究会	29
2018/06/16	臨床微生物部門研修会	44
2018/10/27	臨床微生物部門研修会	38
2018/12/15	第 17 回広島 ICT・AST 活動研修会	25

【臨床生理部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/06/23	生理検査部門研修会（心電図入門）	88
2018/11/18	生理検査部門研修会（血管エコー）	67
2019/02/09	生理機能検査部門・臨床一般検査部門合同研修会	74

【輸血細胞治療部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/09/15	輸血検査研修会	39
2018/12/09	輸血検査 実技研修会	26
2019/02/16	輸血検査研修会	42

【臨床検査総合部門】

開催日	事業名	参加人数
2018/10/27	総合管理部門講習会（認定認知症領域検査技師講習会）	29

## 学術部門 資料 2

### 【生涯教育委員会】

開催日	事業名	参加人数
2018/05/10	第 1 回生涯教育講座（広島地区）	168
2018/05/24	第 1 回生涯教育講座（東部地区）	103
2018/07/12	第 2 回生涯教育講座（広島地区）	123
2018/07/26	第 2 回生涯教育講座（東部地区）	56
2018/09/06	第 3 回生涯教育講座（広島地区）	135
2018/09/27	第 3 回生涯教育講座（東部地区）	72
2018/11/08	第 4 回生涯教育講座（広島地区）	122
2018/11/22	第 4 回生涯教育講座（東部地区）	47
2019/01/10	第 5 回生涯教育講座（広島地区）	128
2019/01/24	第 5 回生涯教育講座（東部地区）	81

## 学術部門 資料 3

### 【精度管理委員会】

開催日	事業名	参加人数
2019/03/24	第 38 回広島県臨床検査精度管理向上研修会	271

## 学術部門 資料 4

### 【臨床検査データ標準化委員会】

開催日	事業名	参加人数
2019/02/09	平成 30 年度広島県臨床検査データ標準化事業報告会&研修会	105

### <経理>

#### 1) 貸借対照表、財産目録

資産・負債の内訳を示しており、資産合計は 49,547,989 円、負債合計は 12,528,813 円となり、正味財産は 37,019,176 円となった。

#### 2) 正味財産増減計算書

当期の一般正味財産の経常収益は 22,250,262 円、経常費用は 21,189,117 円であった。この結果、経常増減額は 1,061,145 円のプラスとなり、これに一般正味財産期首残高 35,958,031 円を合計して正味財産期末残高は 37,019,176 円となった。

#### 3) 平成 30 年度会計報告

添付資料の収支決算書に基づき概要を報告する。なお、財務諸表は公認会計士の指導のもと作成した。事業活動収支については、事業活動収入は 22,250,262 円、事業活動支出は 20,899,461 円であり、事業活動収支差額は 1,350,801 円のプラスとなった。

事業活動収入について、会費収入は 15,057,000 円前年比で 411,000 円増加した。事業収入は 5,937,684 円で、内訳は公益受託事業収益 2,370,640 円、広島県医学検査学会事業収入 367,000 円、学術事業収入

335,044 円、生涯教育事業収入 850,000 円、広報事業収入 400,000 円、その他事業収入として新春祝賀会・表彰祝賀会収入 1,615,000 円であった。補助金等収入は 1,245,330 円で前年比 236,160 円増加し、内容は広島県補助金および日臨技助成金収入であった。事業活動収入合計では、前年比 2,794,014 円、予算比 1,867,262 円の増加となった。

事業活動支出について、事業費支出は 14,402,224 円で、その内訳は、公益受託事業費支出 3,740,685 円、広島県医学検査学会事業費支出 1,478,040 円、学術事業費支出 3,396,966 円、生涯教育事業費支出 544,407 円、組織運営事業費支出 1,921,429 円、広報事業費支出 1,179,412 円、表彰・祝賀会事業費支出 2,141,285 円などであった。管理費支出は 6,497,237 円となった。

このほか、当年度は前年に続いて事務所維持特定預金への繰入を行っており、流動資産の預金から固定資産の特定資産へ 1,000,078 円を振替えた。これにより当年度末での事務所維持特定預金の残高は、10,237,386 円となった。

## < 渉外・法規部 >

### 1) 公益事業の開催

#### ・ピンクリボン de カーブ

5月13日(日)広島マツダスタジアムにて、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会の一員として乳がん検診受診率のアップのためのキャンペーン「ピンクリボン de カーブ」を行った。当会より8名のボランティアが参加した。学術部病理細胞部門員らが、来場者に乳がんに関するパネル(病理学的な検査やがん細胞の写真など)を使って来場者に説明した。当日は試合開始直前で雨天中止になったので、9月21日(金)振替試合があり、5名がボランティアとして参加した。

#### ・がん検診へ行こうよ in マツダスタジアム 2018

9月22日(土)広島マツダスタジアムにて、「がん検診へ行こうよ」推進会議の一員としてがん検診への関心を高めるため、広島県がん検診啓発特使「デーモン閣下」とともに検診受診を広く呼びかけるイベントを行った。当会より3名がボランティアとして参加した。

#### ・世界エイズデー連携イベント 「レッドリボンキャンペーン in 広島」

12月1日の「世界エイズデー」に合わせて、12月8日(土)に広島市のアリスガーデンにてエイズ検査受検促進啓発キャンペーンを行った。当会より16名、山陽女子短期大学学生9名、広島国際大学学生19名のボランティアが参加し、エイズ予防啓発品の配布や受検促進のPR及び採血・HIV簡易検査を行った。今回は希望者には梅毒検査も行った。HIV簡易検査は46名、梅毒検査は42名が受検した。

#### ・HIV/梅毒臨時検査

6月1日(金)と2日(土)HIV検査普及週間に合わせて、広島市やNPO法人りょうちゃんずと協働して広島市中保健センターにてHIV/梅毒臨時検査を行った。当会から6月2日に3名がボランティアとして活動した。6月1日32名、6月2日24名が受検した。さらに10月27日(土)にもゲイコミュニティを対象としたHIV/梅毒臨時検査を実施した。当会から1名がボランティアとして参加し、12名が受検した。

#### ・「21世紀、県民の健康とくらしを考える県民フォーラム」

1月19日(土)広島県医師会館において「健康寿命の延伸-元気で長生きするための秘訣-」を

テーマに揚げ広島県の20を超える関連団体と共に参加した。当会より10名のボランティアが参加し、学術部臨床血液部門、臨床一般部門、病理細胞部門、臨床微生物部門の各部門員ががん細胞や血液細胞などを顕微鏡やタブレットPCで見る体験コーナーを行った。

## 2) 全国「検査と健康展」

11月10日(土)ゆめタウン廿日市にて、病気予防と健康への意識を高めていく活動として全国「検査と健康展」を行った。当会より58名のボランティアが参加した。当日は一般来場者を対象に血管年齢検査(188件)、血管機能検査(85件)、簡易血糖検査(153件)、肺年齢検査(137件)、骨密度測定(181件)、認知症スクリーニング検査(56件)の無料健康チェック、専門医による無料健康相談(37件)を行った。さらに平成30年西日本豪雨災害時に広臨技が行ったDVT検診を実施しているポスターを掲示するとともにDVT検診体験(25件)も行った。また、検査紹介ポスターの展示やパンフレットを配布し、臨床検査の正しい知識と普及・啓発を行った。子どもを対象に超音波や顕微鏡の検査体験(60件)を行った。受検者数はのべ922名であった。

## 3) 各種表彰について

- ・足免弘章技師を公衆衛生に優秀な成果を上げた地区組織等の知事表彰に推薦し、11月16日第59回広島県公衆衛生大会において表彰を受けた。
- ・2月8日(金)に表彰審査委員会を開催し、平成30年度広臨技表彰の学術業績者表彰に渡邊隆徳技師、長谷川文香技師、特別賞に金本實技師、竹本幸夫技師、永年職務奨励者賞32名を推薦した。

## 4) 無料職業紹介事業

臨床検査技師の求人情報(20件：平成30年4月～平成31年3月)を広臨技ウェブサイト公開し、就職の便宜を図った。

## 5) 広島県エイズ日曜検査事業および相談事業(広島県からの委託事業)

### ・エイズ日曜検査事業

毎月第1日曜日(6・12月は第一日曜日)に県立広島病院で合計14回行った。医師14名、看護師のべ27名、会員のべ28名、事務員のべ2名(広島県エイズダイヤルさんからの引継ぎ)が従事した。検査件数は以下に示す。

### ・エイズ日曜検査相談事業

毎週日曜日9時から16時まで電話による相談事業を合計52回行った。相談件数を以下に示す。

日曜検査 実施件数

平成30年度	男	女	合計
2018/04/15	6	1	7
2018/05/20	4	0	4
2018/06/03	2	1	3
2018/06/17	0	1	1
2018/07/15	8	1	9
2018/08/19	5	2	7
2018/09/16	7	0	7
2018/10/21	7	2	9

日曜相談 実施件数

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	合計
4月	20	27	16	10	7	80
5月	22	16	9	9		56
6月	25	14	7	8		54
7月	7	3	11	6	14	41
8月	13	9	14	8		44
9月	11	9	8	9	16	53
10月	14	6	13	5		38
11月	7	9	17	14		47

2018/11/18	4	2	6	12月	11	12	20	15		58
2018/12/02	4	0	4	1月	4	13	14	9		40
2018/12/16	6	1	7	2月	4	10	19	11		44
2019/01/20	4	3	7	3月	13	15	16	20	12	76
2019/02/17	10	0	10	合計						631
2019/03/17	8	3	11							
合計	75	17	92							

(平成30年度の受賞者)

- I. 学術業績者表彰 渡邊 隆徳 (広島市立安佐市民病院)  
長谷川文香 (厚生連広島総合病院)
- II. 学術奨励賞 該当者なし
- III. 功労者表彰 該当者なし
- IV. 特別表彰 金本 實 (三次地区医師会検査センター)  
竹本幸夫 (医療法人社団大谷会 島の病院 おおたに)

V. 永年職務精励者表彰 (32名)

	氏名	所属先
1	寺岡 尚美	福山市医師会健康支援センター
2	井出本 靖子	医療法人社団仁慈会安田病院
3	鍵本 真澄	マツダ病院
4	難波 浄美	県立広島病院
5	空谷 尚美	広島市立舟入市民病院
6	井出本 清彦	医療法人社団仁慈会安田病院
7	奥田 綾子	呉市医師会臨床検査センター
8	大石 由美	広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター
9	小川 和子	県立広島病院
10	川西 なみ紀	JR 広島病院
11	佐藤 美紀	府中市民病院
12	田中 美樹	広島市立舟入市民病院
13	山下 由美	広島市立リハビリテーション病院
14	中川 浩美	広島大学病院
15	竹本 武志	三原赤十字病院
16	田中 早苗	広島厚生事業協会 府中みくまり病院
17	足免 弘章	広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター
18	宮澤 貴久美	自宅会員
19	田村 多美枝	自宅会員
20	清水 裕美子	自宅会員

21	田中 洋子	自宅会員
22	小野寺 一	自宅会員
23	山田 明子	広島市医師会臨床検査センター
24	小川 安信	三原市医師会病院
25	阿賀 由花	三原市医師会病院
26	前 かをり	広島市医師会臨床検査センター
27	桑田 久子	府中市民病院
28	飛谷 綾子	中山心療クリニック
29	高木 早苗	マツダ病院
30	徳広 啓子	自宅会員
31	山中 由美	大瀬戸リハビリ整形外科
32	梅谷 昭子	三原市医師会病院

### <組織調査部>

#### 1) 地区活動

- ・各地区において地区理事を中心に研修会や学会を開催した。(各地区理事報告を参照)
- ・各地区においてレクリエーションや交流会を開催し会員間の親睦を深めた。

#### 2) 組織強化

- ・新入会員のオリエンテーションを開催し、技師会への意識向上を図った。新入会員 30 名が参加した。
- ・経験年数 15 年から 20 年の臨床検査技師を対象に「広島県ニューリーダー育成研修会：第 1 回」を開催した。58 名の参加があった。
- ・第 36 回広島県医学検査学会（東広島）において「会員のための情報交換会」～集まれ！広臨技（いろいろな情報教えます）～を開催した。

#### 3) 会員管理（平成 30 年度末会員数）

正会員数 1799 名（継続会員 1682 名 新・再入会員 117 名 退会 88 名）  
 県会員 5 名 名誉会員 2 名 賛助会員 77 社

### (各地区理事報告)

#### 1. 広島地区

開催日	事業名	参加人数
2018/04/30	広島・西部地区合同レクリエーション（野球観戦）	152 名

#### 2. 呉地区

開催日	事業名	参加人数
2018/04/19	第 1 回呉地区 研修会	33 名
2018/04/26	第 1 回呉地区 輸血談話会	28 名

2018/05/09	第1回呉地区 細胞診研修会	16名
2018/05/18	第1回呉地区 血液研修会	21名
2018/05/24	第2回呉地区 研修会	31名
2018/06/15	第1回呉地区 生理検査研究会	17名
2018/06/21	第3回呉地区 研修会	21名
2018/06/28	第1回呉地区 微生物研修会	12名
2018/07/07	第44回 七夕学会 → 開催中止	---
2018/07/18	第2回呉地区 細胞診研修会	16名
2018/07/19	第2回呉地区 輸血談話会 → 開催中止	---
2018/08/10	第2回呉地区 血液研修会	27名
2018/09/12	第3回呉地区 細胞診研修会	16名
2018/09/27	第4回呉地区 研修会	14名
2018/10/18	第3回呉地区 輸血談話会	17名
2018/10/18	第5回呉地区 研修会	20名
2018/10/25	第2回呉地区 微生物研修会	11名
2018/11/09	第3回呉地区 血液研修会	22名
2018/11/14	第4回呉地区 細胞診研修会	19名
2018/12/22	第44回呉地区 七夕学会	103名
2019/001/17	第4回呉地区 輸血談話会	15名
2019/01/25	平成30年度新年会（意見交換会）	36名
2019/02/08	第4回呉地区 血液研修会	16名
2019/02/28	第6回呉地区 研修会	27名
2019/03/12	第3回呉地区 微生物研修会	13名

### 3. 東部地区

開催日	事業名	参加人数
2018/05/24	第1回生涯教育講座（東部地区）	103名
2018/06/07	第1回東部地区臨床微生物部門研修会	28名
2018/06/14	第1回東部地区血液研修会	35名
2018/06/15	第31回備後糖尿病チーム医療研究会	3名
2018/07/26	第2回生涯教育講座（東部地区）	56名
2018/08/04	東部地区輸血検査研修会	21名
2018/08/23	第1回東部地区一般検査研修会	18名
2018/09/02	東部地区新入会員オリエンテーション研修会	61名
2018/09/02	平成30年度東部地区精度管理報告研修会	82名
2018/09/06	第2回臨床微生物部門研修会	30名
2018/09/08	東部地区生理研修会	36名



2018/09/16・17	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 広島（尾道）	20 名
2018/09/18	東部地区病理研修会	29 名
2018/09/27	第 3 回生涯教育講座（東部地区）	72 名
2018/10/06	健康ふくやま 21 フェスティバル 2018	13 名
2018/10/18	第 2 回東部地区血液研修会	34 名
2018/10/20	第 1 回東部地区生化学・免疫合同研修会	30 名
2018/11/04	第 20 回東部地区学会	155 名
2018/11/18	第 25 回福山医学祭	12 名
2018/11/22	第 4 回生涯教育講座（東部地区）	47 名
2018/12/06	第 3 回東部地区臨床微生物部門研修会	26 名
2018/12/07	第 32 回備後糖尿病チーム医療研究会	4 名
2018/12/08	第 2 回東部地区一般研修会	60 名
2018/12/19	第 2 回東部地区病理細胞診部門研修会	34 名
2018/12/20	東部地区医療法改正研修会	55 名
2019/01/19	第 2 回東部地区輸血検査研修会	27 名
2019/01/24	第 5 回生涯教育講座（東部地区）	81 名
2019/02/02	第 3 回東部地区血液研修会	45 名
2019/02/16	東部地区生理研修会	54 名
2019/03/16	東部地区生理研修会（2018 年度日臨技精度管理報告会）	27 名

#### 4. 東広島地区

開催日	事業名	参加人数
2018/6/14	がん関連研修会（胃癌に対する腹腔鏡手術）	16 名
2018/8/24	東広島地区研修会（免疫検査のピットフォール）	19 名
2018/10/18	がん関連研修会（骨転移に関する整形外科治療）	13 名
2018/11/4	東広島健康福祉まつり参加	9 名
2018/11/30	東広島地区意見交換会	33 名
2018/2/14	がん関連研修会（肝臓がんについて）	20 名

#### 5. 北部地区

開催日	事業名	参加人数
2018/6/2	第 1 回北部地区研修会	23 名
2018/9/29	第 2 回北部地区研修会	18 名
2018/12/1	第 3 回北部地区研修会	23 名
2018/12/1	北部地区意見交換会	8 名

#### <広報部>

##### 1) 速報の発行

- ・速報 No. 378～389 号の計 12 回を発行し、公益事業を含む事業報告、理事会報告、学会案内、研修会等のお知らせを掲載し、技師会活動や医療、検査に関する情報提供を会員に向けて行った。  
なお、速報は平成 30 年 3 月をもって印刷物を廃止したため、広臨技ウェブサイトへ PDF 版として掲載した。

2) 学術誌「広島臨床検査」の発刊

- ・学術誌編集において広告募集を支援し、「広島臨床検査 Vol. 7」を平成 30 年 12 月に発行、翌年 1 月に配布した。

3) 会報の発行

- ・会報 vol. 47 No. 2 として、平成 29 年度の活動記録をまとめ、平成 30 年 8 月に発行した。
- ・会報 vol. 48 No. 1 として、第 36 回広島県医学検査学会抄録集を平成 31 年 2 月に発行した。

4) 広臨技ウェブサイトリニューアルに向けての準備

- ・担当常務理事、担当理事、情報システム委員会と協力しながら、広臨技ウェブサイトリニューアルに向けて準備を行った。

第2号議案 平成30年度決算報告

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産	<b>25,205,041</b>	<b>24,094,942</b>	<b>1,110,099</b>
現金預金	24,295,691	24,094,942	200,749
立替金	899,850	0	899,850
未収入金	9,500	0	9,500
2. 固定資産	<b>24,342,948</b>	<b>23,632,526</b>	<b>710,422</b>
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	10,237,386	9,237,308	1,000,078
事務所維持特定預金	10,237,386	9,237,308	1,000,078
(3) その他固定資産	14,105,562	14,395,218	△ 289,656
建物	1,103,799	1,369,888	△ 266,089
建物附属設備	161,251	184,818	△ 23,567
工具器具備品	2	2	0
土地	12,840,510	12,840,510	0
<b>資産合計</b>	<b>49,547,989</b>	<b>47,727,468</b>	<b>1,820,521</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債	<b>12,528,813</b>	<b>11,769,437</b>	<b>759,376</b>
未払金	526,238	90,080	436,158
前受金	11,928,000	11,627,000	301,000
預り金	74,575	52,357	22,218
2. 固定負債	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,528,813</b>	<b>11,769,437</b>	<b>759,376</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2. 一般正味財産	<b>37,019,176</b>	<b>35,958,031</b>	<b>1,061,145</b>
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(10,237,386)	(9,237,308)	1,000,078
<b>正味財産合計</b>	<b>37,019,176</b>	<b>35,958,031</b>	<b>1,061,145</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>49,547,989</b>	<b>47,727,468</b>	<b>1,820,521</b>

(貸借対照表に関する注記)

実施事業資産は、次のとおりである。

その他固定資産

建物	1,103,799
建物附属設備	161,251
工具器具備品	2
土地	12,840,510
<b>合計</b>	<b>14,105,562</b>

附属明細書

特定資産については注記に記載のため省略。

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 特定資産運用益	78	69	9
③ 受取会費	15,057,000	14,646,000	411,000
④ 事業収益	5,937,684	3,789,000	2,148,684
公益受託事業収益	2,370,640	0	2,370,640
広島県医学検査学会事業収益	367,000	428,000	△ 61,000
学術事業収益	335,044	412,000	△ 76,956
生涯教育事業収益	850,000	796,000	54,000
組織運営事業収益	0	81,000	△ 81,000
広報事業収益	400,000	420,000	△ 20,000
表彰・祝賀事業収益	1,615,000	1,652,000	△ 37,000
⑤ 受取補助金等	1,245,330	1,009,170	236,160
⑥ 雑収益	10,170	12,009	△ 1,839
経常収益計	22,250,262	19,456,248	2,794,014
(2) 経常費用			
① 事業費	14,402,224	12,338,805	2,063,419
給料手当	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	2,302,926	2,007,620	295,306
活動費	828,000	0	828,000
旅費交通費	1,635,660	855,789	779,871
通信費	409,807	53,292	356,515
消耗品費	846,648	128,896	717,752
印刷製本費	2,766,001	2,747,588	18,413
諸謝金	3,041,337	660,191	2,381,146
会場費	1,175,559	621,756	553,803
支払助成金	0	3,872,974	△ 3,872,974
広告費	262,440	342,824	△ 80,384
保険料	30,000	30,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
雑費	1,103,846	1,017,875	85,971
② 管理費	6,786,893	4,766,236	2,020,657
給料手当	1,127,219	1,123,400	3,819
福利厚生費	100,094	94,831	5,263
会議費	23,132	15,867	7,265
旅費交通費	391,550	219,140	172,410
通信費	202,162	218,218	△ 16,056
運搬費	382,023	749,169	△ 367,146
消耗什器備品費	1,812,744	8,618	1,804,126
消耗品費	44,595	82,668	△ 38,073
印刷製本費	230,364	195,912	34,452
光熱水料費	110,526	94,291	16,235
諸謝金	713,583	626,400	87,183
諸会費	0	60,000	△ 60,000
賃借料	351,216	351,216	0
支払手数料	12,376	10,972	1,404
事務所維持費	595,093	255,974	339,119
租税公課	144,100	147,600	△ 3,500
減価償却費	289,656	289,656	0
広告費	75,600	75,600	0
雑費	180,860	146,704	34,156
経常費用計	21,189,117	17,105,041	4,084,076
当期経常増減額	1,061,145	2,351,207	△ 1,290,062
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,061,145	2,351,207	△ 1,290,062
一般正味財産期首残高	35,958,031	33,606,824	2,351,207
一般正味財産期末残高	37,019,176	35,958,031	1,061,145
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	37,019,176	35,958,031	1,061,145

## 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

	実施事業等会計						その他会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公益受託事業	広島県医学検査学会事業	学術事業	生涯教育事業	共通	小計	組織運営事業	広報事業	表彰・祝賀会事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部														
1.経常増減の部														
(1)経常収益														
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	78
③ 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,057,000	0	0	15,057,000
④ 事業収益	2,370,640	367,000	335,044	850,000	0	3,922,684	0	400,000	1,615,000	0	2,015,000	0	0	5,937,684
⑤ 受取補助金等	500,000	0	656,500	0	0	1,156,500	0	0	0	0	88,830	0	0	1,245,330
⑥ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	170	0	10,170
経常収益計	2,870,640	367,000	991,544	850,000	0	5,079,184	0	400,000	1,625,000	0	2,025,000	15,146,078	0	22,250,262
(2)経常費用														
① 事業費	3,740,685	1,478,040	3,396,966	544,407	0	9,160,098	1,921,429	1,179,412	2,141,285	0	5,242,126	0	0	14,402,224
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	59,324	43,789	124,375	28,787	0	256,275	433,967	5,467	1,607,217	0	2,046,651	0	0	2,302,926
活動費	383,000	122,000	106,000	0	0	611,000	133,000	24,000	60,000	0	217,000	0	0	828,000
旅費交通費	17,550	46,021	789,483	90,074	0	943,128	564,932	114,610	12,990	0	692,532	0	0	1,635,660
通信費	191,604	1,424	188,070	1,370	0	382,468	21,544	695	5,100	0	27,339	0	0	409,807
消耗品費	348,556	0	396,771	7,274	0	752,601	73,347	0	20,700	0	94,047	0	0	846,648
印刷製本費	46,657	464,400	1,017,264	191,160	0	1,719,481	15,120	1,031,400	0	0	1,046,520	0	0	2,766,001
諸謝金	1,877,934	150,349	554,996	178,192	0	2,761,471	279,866	0	0	0	279,866	0	0	3,041,337
会場費	184,800	522,213	54,050	47,550	0	808,613	222,618	0	144,328	0	366,946	0	0	1,175,559
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告費	172,800	89,640	0	0	0	262,440	0	0	0	0	0	0	0	262,440
保険料	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	428,460	38,204	165,957	0	0	632,621	177,035	3,240	290,950	0	471,225	0	0	1,103,846
② 管理費												6,786,893	0	6,786,893
給料手当												1,127,219	0	1,127,219
福利厚生費												100,094	0	100,094
会議費												23,132	0	23,132
旅費交通費												391,550	0	391,550
通信費												202,162	0	202,162
運搬費												382,023	0	382,023
消耗什器備品費												1,812,744	0	1,812,744
消耗品費												44,595	0	44,595
印刷製本費												230,364	0	230,364
光熱水料費												110,526	0	110,526
諸謝金												713,583	0	713,583
諸会費												0	0	0
賃借料												351,216	0	351,216
支払手数料												12,376	0	12,376
事務所維持費												595,093	0	595,093
租税公課												144,100	0	144,100
減価償却費												289,656	0	289,656
広告費												75,600	0	75,600
雑費												180,860	0	180,860
経常費用計	3,740,685	1,478,040	3,396,966	544,407	0	9,160,098	1,921,429	1,179,412	2,141,285	0	5,242,126	6,786,893	0	21,189,117
当期経常増減額	△ 870,045	△ 1,111,040	△ 2,405,422	305,593	0	△ 4,080,914	△ 1,921,429	△ 779,412	△ 516,285	0	△ 3,217,126	8,359,185	0	1,061,145
2.経常外増減の部														
(1)経常外収益														
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 870,045	△ 1,111,040	△ 2,405,422	305,593	0	△ 4,080,914	△ 1,921,429	△ 779,412	△ 516,285	0	△ 3,217,126	8,359,185	0	1,061,145
一般正味財産期首残高	△ 4,725,769	△ 6,030,570	△ 13,303,087	335,297	0	△ 23,724,129	△ 9,208,939	△ 7,551,651	△ 3,817,057	0	△ 20,577,647	80,259,807	0	35,958,031
一般正味財産期末残高	△ 5,595,814	△ 7,141,610	△ 15,708,509	640,890	0	△ 27,805,043	△ 11,130,368	△ 8,331,063	△ 4,333,342	0	△ 23,794,773	88,618,992	0	37,019,176
II 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,159,490	5,055,691	1,103,799
建物附属設備	351,750	190,499	161,251
器具備品	640,040	640,038	2
合計	7,151,280	5,886,228	1,265,052

### 3 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事務所維持特定預金	9,237,308	1,000,078	0	10,237,386
合計	9,237,308	1,000,078	0	10,237,386

### 4 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
事務所維持特定預金	10,237,386	-	(10,237,386)	-
合計	10,237,386	-	(10,237,386)	-

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
医療技術者研修事業補助金	広島県	0	100,000	100,000	0	—
助成金						
全国検査と健康展助成金	(一社)日本臨床衛生検査技師会	0	500,000	500,000	0	—
生涯教育推進研修会助成金	(一社)日本臨床衛生検査技師会	0	556,500	556,500	0	—
総会議決権行使書回収委託費	(一社)日本臨床衛生検査技師会	0	88,830	88,830	0	—
合計		0	1,245,330	1,245,330	0	

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 本部・経理部	142,221	
普通預金(事務局) もみじ銀行広島中央支店	211,514	
普通預金(経理部) もみじ銀行広島中央支店	23,629,986	
普通預金(渉外法規部)	311,582	
郵便貯金(旧事業準備積立金口)	388	
預金小計	24,153,470	
現金預金計	24,295,691	
立替金		
平成31年度広島・呉地区レクリエーション費用	880,500	
日臨技中四国支部研修会用試薬代	19,350	
立替金計	899,850	
未収入金		
学術部門(染色体遺伝子 旅費未返却分)	9,500	
流動資産合計		25,205,041
2 固定資産		
(1) 基本財産	0	
(2) 特定資産		
事務所維持特定預金	10,237,386	
特定資産合計	10,237,386	
(3) その他固定資産		
建物 本部事務所マンション	1,103,799	
建物附属設備 本部事務所トイレ工事一式	161,251	
工具器具備品 事務所パソコン一式	1	
工具器具備品 事務所エアコン	1	
土地 本部事務所マンション	12,840,510	
その他固定資産合計	14,105,562	
固定資産合計		24,342,948
資産合計		49,547,989
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
法人県・市民税(均等割)	71,000	
電話代(NTT3月分)	6,246	
エイズ日曜検査事業諸経費 県立広島病院	309,873	
WEBサイト設置設定費用	139,119	
未払金計	526,238	
前受金		
平成31年度会費等前受金	11,928,000	
預り金		
源泉所得税預り金	74,575	
流動負債合計		12,528,813
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		12,528,813
正味財産		37,019,176

## 収支計算書(予算比)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 特定資産運用収入	0	78	△ 78	
① 受取利息	0	78	△ 78	
(3) 会費収入	14,371,000	15,057,000	△ 686,000	
① 正会員会費収入	12,250,000	12,712,000	△ 462,000	(法人会計)@7,000×1,816人
② 県会員会費収入	21,000	35,000	△ 14,000	(法人会計)@7,000×5人
③ 賛助会員会費収入	2,100,000	2,310,000	△ 210,000	(法人会計)@30,000×77社
(4) 事業収入	4,850,000	5,937,684	△ 1,087,684	
① 公益受託事業収入	1,400,000	2,370,640	△ 970,640	(実施事業1) 県エイズ相談・日曜検査事業受託収入
② 広島県医学検査学会事業収入	450,000	367,000	83,000	(実施事業2)
③ 学術事業研修会収入	150,000	335,044	△ 185,044	(実施事業3)
④ 生涯教育事業収入	700,000	850,000	△ 150,000	(実施事業4)
⑤ 広報事業会誌発行収入	500,000	400,000	100,000	(その他事業2) 広報事業
⑥ その他事業収入	1,650,000	1,615,000	35,000	(その他事業3) 表彰・祝賀会事業
(5) 補助金等収入	1,150,000	1,245,330	△ 95,330	
① 県補助金収入	100,000	100,000	0	(実施事業3) 医療技術者研修事業等
② 日臨技公益事業助成金収入	500,000	500,000	0	(実施事業1) 検査と健康展委託事業
③ 日臨技研修助成金収入	500,000	556,500	△ 56,500	(実施事業3) 生涯教育推進研修会助成金
④ 日臨技その他助成金収入	50,000	88,830	△ 38,830	(法人会計) 日臨技事務委託費
(6) 雑収入	12,000	10,170	1,830	
① 受取利息	2,000	170	1,830	
② 雑収入	10,000	10,000	0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>20,383,000</b>	<b>22,250,262</b>	<b>△ 1,867,262</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
(1) 事業費支出	14,113,000	14,402,224	△ 289,224	
① 公益受託事業費支出	2,822,000	3,740,685	△ 918,685	(実施事業1) HIV日曜検査、検査と健康展事業他
② 広島県医学検査学会事業費支出	1,502,000	1,478,040	23,960	(実施事業2)
③ 学術事業費支出	3,380,000	3,396,966	△ 16,966	(実施事業3)
④ 生涯教育事業費支出	715,000	544,407	170,593	(実施事業4)
⑤ 組織運営事業費支出	1,853,000	1,921,429	△ 68,429	(その他事業1) 地区活動事業
⑥ 渉外事業費支出	0	0	0	
⑦ 広報事業費支出	1,190,000	1,179,412	10,588	(その他事業2) 広報事業
⑧ 表彰・祝賀会事業費支出	2,651,000	2,141,285	509,715	(その他事業3) 表彰・祝賀会事業
(2) 管理費支出	7,842,000	6,497,237	1,344,763	(法人会計)
<b>事業活動支出計</b>	<b>21,955,000</b>	<b>20,899,461</b>	<b>1,055,539</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 1,572,000</b>	<b>1,350,801</b>	<b>△ 2,922,801</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>2. 投資活動支出</b>				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 固定資産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	1,000,000	1,000,078	△ 78	
① 事務所維持特定預金取得支出	1,000,000	1,000,078	△ 78	事務所修繕・移転に備えた特定預金への振替
<b>投資活動支出計</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,078</b>	<b>△ 78</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 1,000,000</b>	<b>△ 1,000,078</b>	<b>78</b>	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入計</b>	0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>	0	0	0	
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 予備費支出</b>	0	-	0	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 2,572,000</b>	<b>350,723</b>	<b>△ 2,922,723</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>12,325,505</b>	<b>12,325,505</b>	<b>-</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>9,753,505</b>	<b>12,676,228</b>	<b>△ 2,922,723</b>	



## 収支計算書(前期比較)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	前期決算額	決算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 特定資産運用収入	69	78	△ 9	
① 受取利息	69	78	9	事務所維持特定預金利息
(3) 会費収入	14,646,000	15,057,000	411,000	
① 正会員会費収入	12,488,000	12,712,000	224,000	(法人会計)正会員32人純増
② 県会員会費収入	28,000	35,000	7,000	(法人会計)県会員1人増
③ 賛助会員会費収入	2,130,000	2,310,000	180,000	(法人会計)賛助会員6社純増
(4) 事業収入	3,800,860	5,937,684	2,136,824	
① 公益受託事業収入	0	2,370,640	2,370,640	(実施1) 県エイズ相談・日曜検査事業受託
② 広島県医学検査学会事業収入	428,000	367,000	△ 61,000	(実施2)
③ 学術事業研修会収入	423,860	335,044	△ 88,816	(実施3)
④ 生涯教育事業収入	796,000	850,000	54,000	(実施4)
⑤ 組織運営事業収入	81,000	0	△ 81,000	(その他1)
⑥ 広報事業会誌発行収入	420,000	400,000	△ 20,000	(その他2)
⑦ その他事業収入	1,652,000	1,615,000	△ 37,000	(その他3)
(5) 補助金等収入	1,009,170	1,245,330	236,160	
① 県補助金収入	100,000	100,000	0	(実施3) 医療技術者研修事業等
② 日臨技公益事業助成金収入	500,000	500,000	0	(実施1) 検査と健康展委託事業助成金
③ 日臨技標準化事業助成金収入	0	0	0	(実施3)
④ 日臨技研修助成金収入	323,000	556,500	233,500	(実施3) 生涯教育推進事業556千円
⑤ 日臨技その他助成金収入	86,170	88,830	2,660	(法人会計)日臨技事務委託費
(6) 雑収入	149	10,170	10,021	
① 受取利息	149	170	21	
② 雑収入	0	10,000	10,000	
<b>事業活動収入計</b>	<b>19,456,248</b>	<b>22,250,262</b>	<b>2,794,014</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
(1) 事業費支出	12,338,805	14,402,224	2,063,419	
① 公益受託事業費支出	1,352,149	3,740,685	2,388,536	(実施1) 県エイズ相談・日曜検査事業受託
② 広島県医学検査学会事業費支出	1,537,811	1,478,040	△ 59,771	(実施2)
③ 学術事業費支出	3,432,129	3,396,966	△ 35,163	(実施3)
④ 生涯教育事業費支出	616,288	544,407	△ 71,881	(実施4)
⑤ 組織運営事業費支出	1,758,411	1,921,429	163,018	(その他1) 地区活動事業
⑥ 渉外事業費支出	0	0	0	(その他2)
⑦ 広報事業費支出	1,309,404	1,179,412	△ 129,992	(その他2)
⑧ 表彰・祝賀会事業費支出	2,332,613	2,141,285	△ 191,328	(その他3)
(2) 管理費支出	4,476,580	6,497,237	2,020,657	(法人会計)
<b>事業活動支出計</b>	<b>16,815,385</b>	<b>20,899,461</b>	<b>4,084,076</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>2,640,863</b>	<b>1,350,801</b>	<b>△ 1,290,062</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>2. 投資活動支出</b>				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 固定資産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	1,000,069	1,000,078	9	
① 事務所維持特定預金取得支出	1,000,069	1,000,078	9	事務所修繕・移転に備えた特定預金への振替
<b>投資活動支出計</b>	<b>1,000,069</b>	<b>1,000,078</b>	<b>9</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 1,000,069</b>	<b>△ 1,000,078</b>	<b>△ 9</b>	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入計</b>	0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>	0	0	0	
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 予備費支出</b>	-	-	-	
<b>当期収支差額</b>	<b>1,640,794</b>	<b>350,723</b>	<b>△ 1,290,071</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>10,684,711</b>	<b>12,325,505</b>	<b>1,640,794</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>12,325,505</b>	<b>12,676,228</b>	<b>350,723</b>	

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、立替金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。



### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	24,094,942	24,295,691
未収入金	0	9,500
立替金	0	899,850
前払金	0	0
合計	24,094,942	25,205,041
未払金	90,080	526,238
前受金	11,627,000	11,928,000
預り金	52,357	74,575
合計	11,769,437	12,528,813
次期繰越収支差額	12,325,505	12,676,228

平成 31年 4月 16日

監査報告書

一般社団法人 広島県臨床検査技師会  
会長 森田 益子 殿

監事 水野 誠士   
監事 榎本 健 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2、監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) その他

- ① 昨年度の指摘事項が一部遵守されていない。
  - ・担当部局長の押印欄に空欄あり、不要であれば斜線等引くこと。
  - ・領収書（JR発行も含む）の押印またはサインが無いものが見受けられた。
- ② 学術部門において、部門長は日本臨床衛生検査技師会の「日臨技 生涯教育研修制度ガイドライン」と広島県臨床検査技師会の「研修会企画運営細則」の周知徹底をお願いしたい。また主催、共催、後援の違いを理解して頂きたい。
- ③ 広報取材は目的をあらかじめ明確にし、部員の派遣・活動をして頂きたい。旅費の支給は役員に準じたものが望ましい。

以上

## 第4号議案 平成31（令和元）年度事業方針案

### <総括>

改元令和元年の年、昨年度までの事業を粛々と継続し執行部2年目を以下の活動を行う。

#### ① 会員資質向上と技師会組織の強化に努める。

学術団体・職能団体としての事業を推進、学術誌「広島臨床検査」を継続発行するなど会員の業績を支援し、医療人としての人材育成に努める。入会促進を図るとともにウェブサイト等の情報網を利用して組織強化に努める。チーム医療活動に積極的に参加していく臨床検査技師を育成していくために「地域ニューリーダー実践講習会」や「多職種連携のため能力開発講習会（ベツトサイド実践講習会）」、「初級・職能開発講習会」を開催し地域、施設の中核となる技師の育成を目指す。

#### ② 臨床検査技師の社会的認知度を向上させる。

「検査と健康展」、エイズ・ピンクリボンキャンペーン、県からの委託事業としてエイズ日曜検査などの公益活動を実施し、県民の医療および公衆衛生の向上に貢献する。また、市民公開講座の開催などを通じて社会的認知度を向上させる。

#### ③ 県学会は広島市で開催する。

#### ④ 精度管理、標準化、検査データの共有化事業を推進する。

2018年12月に施行された医療法の一部改正に対応できる検査室作りをバックアップできる体制を整え、病院経営に貢献できることをめざす。

行政および関連団体との連携強化を図り、標準化事業を推進して地域医療に貢献する。

#### ⑤ 公益法人への移行に向けて事業内容の仕分け等より具体的な作業に入る、また事務所維持問題についても継続して検討していく。

### <事務局>

#### 1) 事務局体制の維持と管理

- ・事務局運営規定に則り業務を遂行する。
- ・日臨技総合情報システム（JAMTIS）を利用し会員情報の維持・管理を行う。
- ・新着情報、その他各種情報の即時発信に努める。

#### 2) 技師会活動の連携体制を維持

- ・各部間の円滑な運営に協力するとともに、日臨技と連携を図り共同事業の円滑な開催を支援する。

#### 3) 常務理事会および理事会の開催

- ・常務理事会を12回（原則的に毎月第1木曜日）、理事会を5回以上開催する。

#### 4) 定期総会の開催

- ・定款の規定に基づき、総会を年1回開催する。

#### 5) 新春祝賀会の開催

- ・会員・賛助会員と役員の親睦や情報交換を目的として開催する。

#### 6) 情報システムの管理

- ・データ管理の更なる強化を目指す。
- ・OA機器の円滑な運用の推進、ソフトウェアの統括的な管理を行う。
- ・ウェブサイトサイト、情報配信ツール（メーリングリスト、メールマガジンなど）を利用して会員へ円滑な情報提供を行う。

- ・リニューアルしたウェブサイトの安定的な運用のための教育、人材育成に努める。
- 7) 2020年広島県臨床検査技師会創立70周年・法人化30周年記念式典の準備を進める。
- 8) グレイスビルの老朽化に伴う、今後の事務所の維持問題を検討する。

#### <学術部>

- 1) 日本臨床検査技師会学術組織設置要綱に準じて9部門体勢で活動を行うこととする。  
生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、  
病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門
- 2) 学術部門の活動
  - ・臨床に役立ち、良質な検査室づくりに寄与できる臨床検査技師育成を支援する。
  - ・会員の生涯教育を目的に研修会、講習会を開催する。
  - ・各種認定および資格の取得へ向けて情報提供と支援を行う。
  - ・日臨技が開催する学会、研修会を支援する。
  - ・各部門における学術研究、疫学調査の推進および支援をおこなう。
- 3) 生涯教育講座の開催
  - ・生涯教育委員会を中心に広島地区および東部地区で生涯教育講座を開催する。
- 4) 医学検査学会の開催
  - ・第37回広島県医学検査学会の開催を支援する。
- 5) 精度管理事業
  - ・広島県医師会共催の精度管理事業は精度管理委員会を中心に実施・分析評価を行い、行政及び関連団体と連携強化も推進する。
  - ・標準化委員会を中心に臨床検査データ標準化事業を推進し、検査データの共有化を図り、地域医療に貢献する。
- 6) 会員の業績向上への支援
  - ・学術団体としての事業を推進、学術誌「広島臨床検査」継続的発刊に伴う査読や学会発表・論文投稿などを含め会員の業績を積極的に支援し、医療人としての人材育成に努める。
  - ・学術誌編集委員会を中心に学術誌「広島臨床検査」を広報部と連携し発刊する。

#### <経理部>

- 1) 公認会計士の指導のもと、一般社団法人に適用される会計基準に対応出来る経理事務処理体制をより充実させることに努める。
- 2) 技師会各部局、各地区の運営及び学会・研修会等の活動が円滑に行えるよう、財政面から支援する。
  - ・平成31年度の収支予算書(案)を別紙に示した。
  - ・各部門・各地区の活動費は、前年度の予算額と申請額を基礎に予算案を策定した。
- 3) グレイスビル修繕の負担金発生に備え、準備金確保に努める。
- 4) 平成31年度も継続して会計事務の簡素化を行う。

#### <渉外・法規部>

- 1) 公益事業の開催
  - ・エイズキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン、がん検診へ行こうよ など公共団体が実施す

る保健事業に協力し、県民の健康・福祉の増進を目的とした講演会開催など公共事業の拡大と推進を図る。また会員ボランティアの組織づくりを行う。

2) 全国「検査と健康展」の開催

- ・日臨技が国民の健康づくりの意識の高揚を図ることを目的に全国で展開する「検査と健康展」を実施する。

3) 各種表彰推薦

- ・会員及び各理事の協力を得て、対象者の表彰に対応する。

4) 無料職業紹介事業

- ・広臨技ウェブサイトを利用し、より多くの臨床検査技師に職業紹介を行う。

5) 広島県エイズ日曜検査事業及び相談事業（広島県からの委託事業）

- ・日曜検査事業は、HIV 検査をより多くの県民が受けやすい環境を作るため、無料匿名による検査を毎月第3日曜日（6と12月は第1、3日曜日）に県立広島病院にて実施する。
- ・日曜相談事業は、正しい知識の普及、県民の不安の解消、患者・感染者に対する偏見の除去および日曜検査の予約を実施する。

6) その他渉外、法規、厚生に関すること

- ・臨床検査技師の地位向上と、業務拡大などを目指して法改正運動などを後押しするために、連盟加入の促進を努力する。また、一般市民に対して臨床検査技師の紹介を実施する。

<組織調査部>

1) 地区活動

- ・会員相互の親睦のためのイベントを開催する。
- ・各地区において、生涯教育研修の計画、地域保健事業などの活動へ参画し、実施する。

2) 組織力の強化

- ・技師会への入会促進や新入会員オリエンテーションを開催し、技師会への意識向上を図る。
- ・県学会で「会員のための情報交換会」を開催し、広臨技からの情報提供を行う。
- ・卒後3～5年の会員を対象に「初級・職能開発講習会」を開催し、技師会への意識向上と人材育成を図る。
- ・経験年数15年から20年の臨床検査技師を対象に「広島県ニューリーダー育成研修会：第2回」を開催し、人材育成を図る。

3) 会員への支援活動

- ・会員専用の情報配信ツール（メーリングリスト、メールマガジンなど）での支援を行う。

<広報部>

1) 速報の発行（継続事業）

- ・昨年度同様、速報 PDF 版を毎月1回発行し、広臨技ウェブサイトからダウンロードできるようにする。
- ・公益事業をはじめとする事業活動報告や研修会の案内、理事会報告などの技師会活動や医療、検査に関する情報をタイムリーに提供できるように努める。

2) 学術誌「広島臨床検査」の発行（継続事業）

- ・学術誌「広島臨床検査」の広告募集をサポートし、学術誌「広島臨床検査 Vol.8」を当会会誌として年1回発行する。

3) 会報の発行（継続事業）

- ・年間の技師会活動をとりまとめることを主体に当会活動記録 Vol. 48 No.2 として、また「第 37 回 広島県医学検査学会抄録集」vol. 49 No. 1 として、年 2 回発行する。さらに今年度の会報には昨年度と同様に「定款・諸規定」の全文を掲載する。

4) 新しい広臨技ウェブサイトと情報発信（継続事業）

- ・速報印刷物廃止に伴う、会員への情報発信の低下を補うため、事務局、ウェブサイト委員会、情報システム委員会と協力し、新しい広臨技ウェブサイトの機能を利用し、会員向け情報を充実させ、継続して発信していく。

第5号議案 平成31（令和元）年度予算案

収支予算書（案）

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 会費収入	14,878,000	14,371,000	507,000	
① 正会員会費収入	12,600,000	12,250,000	350,000	7,000円×1,800人
② 県会員会費収入	28,000	21,000	7,000	7,000円×4人
③ 賛助会員会費収入	2,250,000	2,100,000	150,000	30,000円×75社
(3) 事業収入	5,890,000	4,850,000	1,040,000	
① 公益受託事業収入	2,370,000	1,400,000	970,000	HIV日曜検査
② 広島県医学検査学会事業収入	450,000	450,000	0	展示・広告収入
③ 学術事業収入	200,000	150,000	50,000	実技演習会・研修会テキスト代
④ 生涯教育事業収入	720,000	700,000	20,000	受講費2,000円×360名(予定)
⑤ 広報事業収入	500,000	500,000	0	広告料 会報250,000円・学術誌250,000円
⑥ 表彰・祝賀会事業収入	1,650,000	1,650,000	0	新春祝賀会会費 10,000円×150名 ・表彰祝賀会費150,000円
(4) 補助金等収入	1,150,000	1,150,000	0	
① 県助成金収入(学術事業)	100,000	100,000	0	医療技術者研修事業等補助金
② 日臨技公益委託事業受託収入	500,000	500,000	0	検査と健康展 500,000円
③ 日臨技助成金収入	550,000	550,000	0	議決権委託50,000円、推進事業研修会500,000円
(5) 雑収入	11,000	12,000	△ 1,000	
① 受取利息	1,000	2,000	△ 1,000	
② 雑収入	10,000	10,000	0	文献権利承諾使用料
<b>事業活動収入計</b>	<b>21,929,000</b>	<b>20,383,000</b>	<b>1,546,000</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
(1) 事業費支出	16,004,600	14,113,000	1,891,600	
① 公益受託事業費支出	4,117,000	2,822,000	1,295,000	どかさんエイズ28万、レッドリボン28万、ピンガボン4万、HIV日曜237万、検査と健康展70万、県民フォーラム10万
② 広島県医学検査学会事業費支出	1,702,000	1,502,000	200,000	
③ 学術事業費支出	3,688,500	3,380,000	308,500	学術誌発行費850,000円、日臨技システム使用料100,000円 他
④ 生涯教育事業費支出	720,000	715,000	5,000	
⑤ 組織運営事業費支出	2,296,100	1,853,000	443,100	組織調査部・地区活動費 他
⑥ 渉外法規事業費支出	0	0	0	
⑦ 教育研修事業費支出	0	0	0	
⑧ 広報事業費支出	830,000	1,190,000	△ 360,000	会報印刷 650,000円
⑨ 表彰・祝賀会事業費支出	2,651,000	2,651,000	0	新春祝賀会、表彰祝賀会
(2) 管理費支出 *1	5,042,000	7,842,000	△ 2,800,000	
<b>事業活動支出計</b>	<b>21,046,600</b>	<b>21,955,000</b>	<b>△ 908,400</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>882,400</b>	<b>△ 1,572,000</b>	<b>2,454,400</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
① 固定資産取得引当預金取崩収入	0	0	0	
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>2. 投資活動支出</b>				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 什器備品購入支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
① 事務所維持特定預金取得支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	
② 設立70周年・法人化30周年記念事業引当資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000	
<b>投資活動支出計</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 2,000,000</b>	<b>△ 1,000,000</b>	<b>△ 1,000,000</b>	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>2. 財務活動支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 予備費支出</b>				
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 1,117,600</b>	<b>△ 2,572,000</b>	<b>1,454,400</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>12,676,228</b>	<b>12,325,505</b>	<b>350,723</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>11,558,628</b>	<b>9,753,505</b>	<b>1,805,123</b>	



## 収支予算書(案)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位;円)

	実施事業等会計(公益事業)						その他会計					法人会計 (管理費)	内部 取引 控除	合計
	公益受託事業	広島県医学 検査学会 事業	学術事業	生涯教育 事業	共通	小計	地区活動 組織運営 基幹、北部、県 東広島、広島地区	広報事業	表彰 祝賀会事業	共通	小計			
1.経常増減の部														
(1)経常収益														
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,878,000	0	14,878,000
③ 事業収益	2,370,000	450,000	200,000	720,000	0	3,740,000	0	500,000	1,650,000	0	2,150,000	0	0	5,890,000
④ 受取補助金等	500,000	0	600,000	0	0	1,100,000	0	0	0	0	0	50,000	0	1,150,000
⑤ 雑収益	0	0	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	0	1,000	0	11,000
⑥ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	2,870,000	450,000	810,000	720,000	0	4,850,000	0	500,000	1,650,000	0	2,150,000	14,929,000	0	21,929,000
(2)経常費用														
① 事業費・管理費	4,117,000	1,702,000	3,688,500	720,000	0	10,227,500	2,296,100	830,000	2,651,000	0	5,777,100	5,332,000	0	21,336,600
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500,000	0	1,500,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
会議費	35,000	150,000	157,000	30,000	0	372,000	318,300	9,000	2,010,000	0	2,337,300	20,000	0	2,729,300
活動費	390,000	0	300,000	0	0	690,000	216,000	50,000	0	0	266,000	0	0	956,000
旅費交通費	50,000	100,000	762,000	67,000	0	979,000	618,000	120,000	15,000	0	753,000	200,000	0	1,932,000
通信費	250,000	2,000	37,000	5,000	0	294,000	70,800	1,000	1,000	0	72,800	200,000	0	566,800
運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400,000	0	400,000
消耗什器備品費	5,000	0	0	0	0	5,000	0	0	0	0	0	300,000	0	305,000
消耗品費	705,000	0	553,000	0	0	1,258,000	87,000	0	25,000	0	112,000	150,000	0	1,520,000
印刷製本費	55,000	600,000	1,000,000	330,000	0	1,985,000	24,000	650,000	0	0	674,000	100,000	0	2,759,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
諸謝金	1,719,000	200,000	557,000	240,000	0	2,716,000	312,000	0	0	0	312,000	600,000	0	3,628,000
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
会場費	50,000	500,000	210,000	48,000	0	808,000	440,000	0	200,000	0	640,000	0	0	1,448,000
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託事業費	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
国際交流事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告費	110,000	0	0	0	0	110,000	0	0	0	0	0	80,000	0	190,000
組織活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
賃借料	300,000	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	0	352,000	0	652,000
支払手数料	0	0	100,000	0	0	100,000	0	0	0	0	0	20,000	0	120,000
調査費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所維持費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	530,000	0	530,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170,000	0	170,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	290,000	0	290,000
雑費	348,000	150,000	12,500	0	0	510,500	210,000	0	400,000	0	610,000	150,000	0	1,270,500
② 他会計への繰出額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	4,117,000	1,702,000	3,688,500	720,000	0	10,227,500	2,296,100	830,000	2,651,000	0	5,777,100	5,332,000	0	21,336,600
当期経常増減額	△ 1,247,000	△ 1,252,000	△ 2,878,500	0	0	△ 5,377,500	△ 2,296,100	△ 330,000	△ 1,001,000	0	△ 3,627,100	9,597,000	0	592,400
2.経常外増減の部														
(1)経常外収益														
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,247,000	△ 1,252,000	△ 2,878,500	0	0	△ 5,377,500	△ 2,296,100	△ 330,000	△ 1,001,000	0	△ 3,627,100	9,597,000	0	592,400

一般社団法人 広島県臨床検査技師会  
平成31（令和元）年度 定期総会資料

平成31年4月23日

---

発行責任者	森田 益子 一般社団法人 広島県臨床検査技師会
編集・発行 事務所	〒730-0013 広島市中区八丁堀 6-10 グレイスビル 801 号 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 事務所 TEL 082-502-6011 FAX 082-502-6031 URL <a href="http://www.hiroringi.or.jp/">http://www.hiroringi.or.jp/</a> E-mail <a href="mailto:info@hiroringi.or.jp">info@hiroringi.or.jp</a>
印刷所	可部印刷株式会社 〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目 43-7 TEL 082-814-2065 FAX 082-814-3569